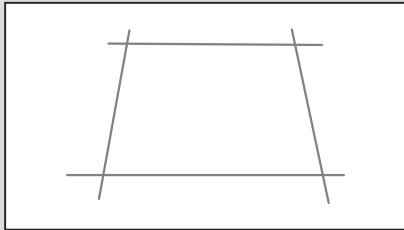


■施工方法

1 位置決め

設置位置を決め、作図します。

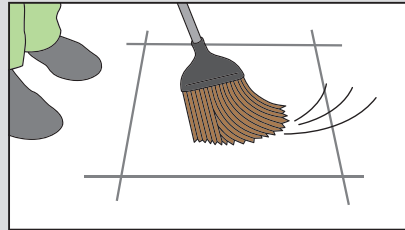
レイアウト図が入っている場合は、図にしたがって展開してください。



2 清掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

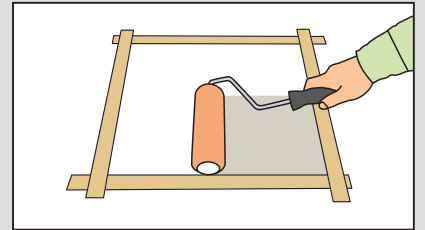
水分やゴミ・汚れ等を十分に取り除きます。
凹部分は念入りに清掃を行ってください。
設置面が濡れている場合は施工できません。



3 プライマー 塗布・乾燥

専用プライマーを設置面凹部まで均一に薄く塗布し、指で触れても“**付着しなくなるまで**”十分に乾燥させます。

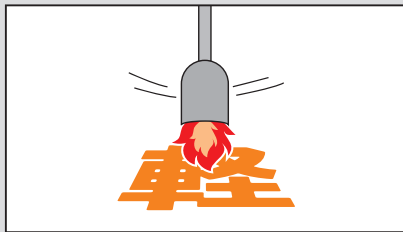
塗りすぎ・乾燥が足りないと剥がれの原因となります。



4 加熱・溶融

設置位置にシートを配置し、**弱火**でシート全体を設置面になじませるように、あぶります。全体がなじんできたら**中火**で、シート表面に“**気泡が沸くまで**”まんべんなく、あぶります。

とくにエッジ部分は十分にあぶってください。



5 施工完了

溶融後、設置面とシートが接着していることを確認します。施工完了後、十分に冷却時間をおいてください。

設置面とシートとの間に隙間があると、浸水し剥がれる恐れがあります。



加熱直後にガラスビーズを散布すると**汚れ防止、防滑効果**が期待できます。更なる防滑効果が必要な場合はシリカ、珪砂などの散布を推奨します。

■施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は**剥がれの原因**になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、ガスバーナーなどで設置面の温度を40℃程度になるまで加熱してください。
- シートは、**施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立掛厳禁**で保管ください。
- 施工直後、タイヤ痕がつきやすいため、施工後に水をかけるなど**路面温度を下げ**てから交通開放してください。
- コンクリート面への施工をする場合、コンクリートに含まれる水分により**シートに大きなピンホール**が出来る可能性があります。

- 専用プライマーに記載されている**注意書き**を必ずお読みください。
- 設置面の**適合性・接着性**を十分にご確認ください。
- 設置面に**凍結防止剤**が残留している場合、必ず除去してください。
- シートは、**施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立掛厳禁**で保管ください。
- バーナー使用時は火気に十分ご注意ください。

■施工場所の注意点

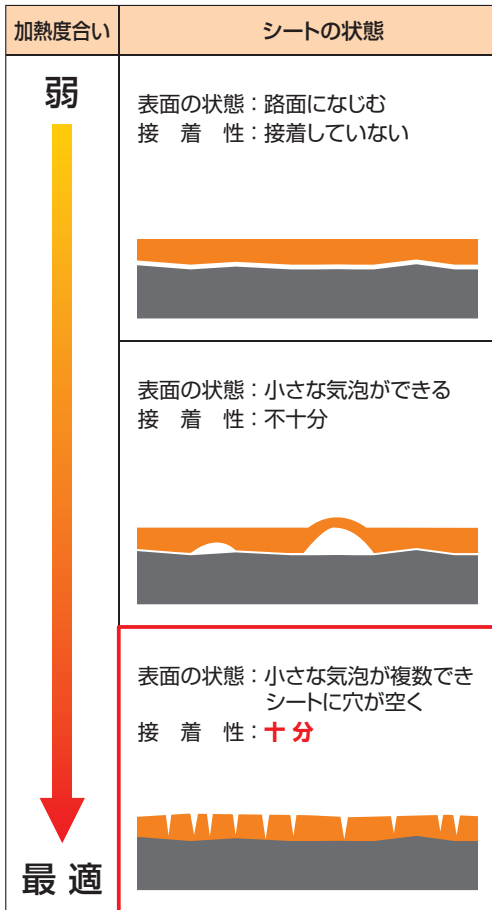
※下記の場所については**施工を避けてください**。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- コンクリート新設舗装から3ヶ月以内の設置面。表面のレイトランスにより接着性を損ねる原因になります。
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- アスファルト打設直後の設置面。
- 設置面の凸凹が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など。)
- 施工後は設置面の原状復帰はできかねますのでご注意ください。
- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。
- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。

※裏面に「あぶり方のポイント」・「プライマー塗布の注意点」等が記載されておりますので **必ずお読みください**。

■あぶり方のポイント

加熱度合いによるシートの変化 (路面がアスファルトの場合)



加熱不十分と加熱十分の違い

加熱不十分 シートに穴が開いていない。

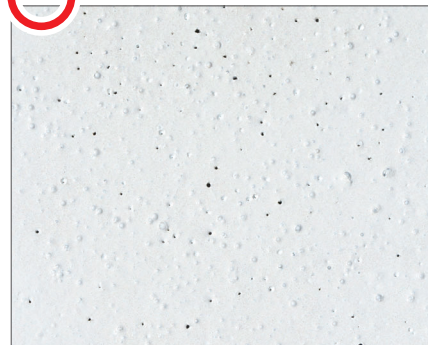


シート表面



エッジ部分

加熱十分 いくつもの小さな気泡ができシートに穴が空く。



シート表面



エッジ部分

施工完了後にシートと路面の間に隙間がないか、ご確認ください。

■プライマー塗布の注意点

設置面	経年・路面状態	下地処理方法	注意事項
アスファルト	施工直後	清掃後 プライマー塗布しない	
	施工後 1日～1週間	清掃後 プライマー塗布	塗布量はごく少量とする
	施工後 1週間以降	清掃後 プライマー塗布	
コンクリート	施工後 3か月未満	原則として施工しない	新設コンクリートは施工不可
	施工後 3か月以降～6か月以内	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	プライマーの吸い込み状況により何度か塗布
	施工後 6か月以降	表面を研磨後 清掃・プライマー塗布	
インターロッキング	コンクリート系	清掃後 プライマー塗布	
	陶板系	清掃後 プライマー塗布	

■保管方法

- 直射日光、水漏れ、高温、低温、多湿を避け、火気のない屋内で保管してください。
- 立掛厳禁で、平らな場所に平置きで保管ください。
- 製品を変形させて保管しないでください。

■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。

■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。